

そろびく

0 そんくりゃ

0 だいか

だいじなもん

タカあげ

たかやぼ

たかんばっちょ

たきもん

0 たぎる

たきわる

ダクマ

たくるる

たけんこ

たけんぼんがら

0 だご

だごじゅり

たこんまくら

だしかえて

だしまえ

たすからん

たたかした

たちがれ

だっか

だっきゅう

たった

だっでん

たばこしえん

0 たまがる

たまがった

たまにゃあ

たまらん

だらしんなか

だりやすみ

0 だるか

だるもかるも

引きずる

その位

誰か

大切なもの

風上げ

竹藪

竹の皮で作った編笠、三度笠

薪

沸騰する

湯など蒸発して鍋などを壊すの言う、破産する

川エビ、手帳蝦

着物がずりあがる

筍

たけのつつ

団子

だんご汁

ヒトデ

立替え

負担金

たすからない

たたかれた

立ったまま枯れた木

おとなしい

らっきょう

わずか

誰でも

小遣いの小銭をいう

びっくりする

びっくりした

時には

こらえきれない

しまりがない

晩酌

誰か、疲れる

誰も彼も

だるやみ
だれやみ
だれた
たんあぜ
たんがね
たんぐわった
たんご
だんこえ
たんしょ

①だんだん
だんどり
たんなか
だんなつと

①たんぬる
たんねる
たんべん

ちー
ちいた
ちいて
ちえんちえん

①ちった
ちっと
ちびんか
ちゃあて
ちゃあら
ちゃーばり
ちゃーら
①ちゃいけた
ちゃいくる
ちゃおけ
ちゃっか

①ちゃんしもた
ちゅーのだて
ちよいちよい
ちようけた

晩酌
晩酌
疲れた
あぜ道
澤がに
びっくりする
にない桶
堆肥、肥料
喘息
有難う、さようなら
準備
たんぼ
誰かが
尋ねる
尋ねる
度々

乳汁、血
着いた
搗いて
すわる (童語)

少しは
少し
小さい
炊いて
たらい
田原
たらい
落ちた
落ちる
茶受け
小発動機舟

ああしまった
家を建てる時大工の仕事始めを言う
いい気味だ
落ちた

ちょうず
ちょうずばち
ちょうどやか
ちょか
ちょこつと
ちよっだらい
ちよっだりゃ
ちよっどこ
ちょんかけ
ちょんぎる
ちらつと
ちわするる
ちんちく

大便
手洗い用の水入れ
ぴったり
急須、土瓶
ちよつと
三本足の手洗い桶
洗面器
便所
引掛ける際
切る
ちよつと
忘れる
竹の一種

つう
ついとる
つがね
つかましえもん
つぎ
つきしゃく
つきのよさま
つぎゃー
つきゃーしえん
つくじる
つくら
つくる
つぐる
つけもん
つこかす
つこくる
つつかう
つつくやす
① つっこけた
つっぱる
つと
つとずね

瘡のかさぶた、蟹の甲羅
よい事ばかり
もくずがに
それだけの価値のない物
衣装の繕い
搗き碎く
お月様
鳥などの雄雌を言う
小遣錢
つつく
ふところ
燈をつける、作る
女が髪をまくこと
大根を漬けた物
落とす
落ちる、転倒する
土寄せ、土入れ
こわす
ころんだ
支える
藁で作った入物
ふくらはぎ

つなし
つのんぼ
① つぶる
つぼね
つましか
つまらん
つむ
つむる
① つら
つらかまわず
つらつくり
つらなし
つらんにっか
つりあわん
つれやあー
つんきりだんご
① つんきる
つんころせ
つんでくる
つんぬく
① つんのうで
つんぶるた

て
であき
であと
でけぶつ
てご
でこか
てこでもうごかん
てごんみゃ
① てし
てしもん
てだし
でっしゅ
てばな

こはだの子
草履の一種
目や口を閉じる
隠居屋
しまりや
だめ
切る
閉じる
顔
厚顔
体面つくり
恥ずかしがり家
にくらしい
つりあわない
夫婦（つれあい）
つまみきった団子
つむ、つまみきる
つぶしてしまえ
ひょっこり出る
つきさす
連れだって
払い落とした

支柱
秋の収穫時期
嫁の実家
利口者
籠
利口者
がんこ者の事
自分勝手
自分で、自分
自分の物
自腹を切ること
でしょう
手洩

てぶら
てまんご
てめし
てや
てやくむ
てれんばれん
てんかかり
てんぐとり
① てんげ
でんこん
てんたらん
てんでん
てんはら

① どい
どいが
とうじ
どうしゅうか
とうばた
どうろこうろ
とーきび
とーぐわ
とーしー
どーしゅ
どーずき
どーとし
どーなりこーなり
① どーろこーろ
どかいらん
どがいらん
とかき
どがしこ
① どがしこでん
とかまえる
どがるか
どがん

なにももたない事
手遊び
手飯
仕事する仲間、…といっても
結託を組む
てれっとしてはかどらない様子
手当たり次第
物を次から次に手うつしで運ぶ
タオル、手ぬぐい
蓮根
働き手がたりない
自分自分で
掌

どうして
どれが、だれが
ご飯の焦げ
どうしようか
風
どうにかこうにか
とうもろこし
冬瓜
いつも
小鯛
家を建築する時の基礎工事
白蟻
やっど
やっど
何処にでも、かしこでも
不用意に、いいところかげんに
掌のしわ
どれだけ
どれだけでも
捕まえる
よいではないか
どんなに

どかんか
どがんしたっちゃ
どがんしてでん
どがんしてん
どがんしょんなか
とかんつく
どがんすつと
どがんなつとつと
ときゃえん

① どぎゃんしたて
どぎ
とぎる
どけ
どけいくと
どけだっか
どけでん
どこさん
どこさんいくと
とこずれ
どこなつと

① とごゆる
とこんま
どざめ
どし

① どしこ
としおり

① とぜんなか
とちるる
とっきげん

① とつけんなか
とっこす
どっち
どっちゃん
とつつあま
とつつあん
とっぱ

のきなさい
どんなにしても
どうしても
どうしても
どうしようもない
つかまって
どうするのか
どうなっている
とけない
どうしましたか
川魚の一種
木を削る
除け、何処
どこに行きますか
あますぎる、味が濃厚なこと
どこでも
どこに
どこに行きますか
病気などで長く寝ていて臀部にできる潰瘍
何処なりと
ふざける、騒ぐ
床の間
めだか
友達
どれだけ
老人
寂しい
まごつく
お天気や
とんでもない
後頭部の腫物
どちら
どちらへ
父親
父、父さん
筒袖

とつと
どつとどいが
どつとどるが
とっぺん
とみしゃご
とも
とびもん
どびしょ
どべ
どべそ
とぼくら
① とぼくんな
とぼす
とや
どゆーする
とらんか
とりこみ
どりゃ
① どる
とれめ
どれしこ
① どわいか
どん
どんく
どんぐら
どんぐみ
どんごろす
どんじゅ
どんすわる
① どんだ
① とんと
どんばら
どんぶりばち
どんべ
とんぼがき
とんまめ

鶏（小児用語）
どれとどれが
どれとどれが
頂点、先端
鳳仙花
船尾
目の前にちらちらする物
素焼きの急須
最後尾
出臍
戸袋
知らない顔するな
燈をつける
鶏舎
発情する
取りなさい
忙しいこと
どれ
どれ
収穫高
どれだけ
よいではないか
名前の下に付ける、殿
ガマ
川魚の一種
殿組名の下にドンをつける階級のこと
黄麻の袋
土砕き農具
ドスンと座る
高い土手
全く
大きい腹、妊婦
大きい皿
びり
柿の一種
空豆